

カーボンニュートラルへの挑戦 <⑩>



水道インフラ維持と脱炭素を両立

光明製作所（和泉市）

光明製作所は「豊かな生活を明日につなぐ」という理念の下、水道用給水装置の製造を通じ、インフラ維持と環境負荷低減を両立させている。

最大の特長は、業界に先駆けて構築した「仮設配管リユースシステム」。従来、工事後に廃棄していた仮設管を、耐久性の高い素材で製造し、再利用可能にした。同システムにより廃棄物削減と供給網全体の二酸化炭素（CO₂）排出量の80%以上を削減可能にする。

同社は、省エネ活動で、CO₂排出量を22%削減。太陽光発電設備の導入で工場の使用電力の54%を再生可能エネルギーでまかない、SBT認定(※)も取得した。

同社の本社営業部橋本祐治部長は、「今後は取引先への省エネ診断支援を通じて、業界全体の脱炭素化を力強く牽引していきたい」と意気込む。

※科学的根拠に基づき企業が設定する温室効果ガス削減目標の認定制度（和泉商工会議所）

詳細はこちら▶

